

日本泌尿器科学会第 92 回宮崎地方会

第 44 回宮崎大学医学部泌尿器科学教室開講記念会

プログラム・抄録集

日 時 令和 3 年 1 月 23 日 (土) 午後 3 時 ~

会 場 ホテル JAL シティ宮崎
2 階「オルソ」
宮崎市橘通西 4-2-30 (Tel. 0985-25-2580)

参加費 3,000 円

会 長 賀本敏行 (宮崎大学医学部泌尿器科 教授)

日本泌尿器科学会第 92 回宮崎地方会事務局

宮崎大学医学部泌尿器科

〒889-1601 宮崎市清武町木原 5200

TEL 0985-85-2968

FAX 0985-85-6958

～プログラム～

15:00～15:42一般演題(1)

座長 向井尚一郎(宮崎大学)

- 1 宮崎大学医学部泌尿器科教室における2020年の臨床統計
○伊藤歌織 大塚 武 藤崎友基也 木村友哉 木村翔一 永田靖久
飛田卓哉 岡部 洸 秋岡貴弘 中原 梢 藤井将人 永井崇敬
高森大樹 木田和貴 寺田直樹 上村敏雄 向井尚一郎 賀本敏行(宮崎大学)
- 2 難治性過活動膀胱に対するボトックス治療の初期経験
○上別府豊治 藤田直子 押川英央 月野浩昌(潤和会記念病院)
村岡敬介(村岡泌尿器科内科)
- 3 腹腔鏡下腎盂形成術(LPP)の初期経験
○山崎丈嗣 富永充彦 川原一朗 慶田喜文
(独立行政法人国立病院機構 都城医療センター)
- 4 膀胱尿管逆流に伴う腎盂腎炎加療目的の腹腔鏡下右腎摘除術で診断された
悪性リンパ腫の1例
○木村友哉 山下康洋(県立延岡病院)
- 5 気腫性腎盂腎炎の2例
○森 勝久 米澤智一(小林市立病院)
- 6 DJステント抜去に尿管アクセスシースが有用であった一例
○眞崎拓朗 鮫島 立 月野圭治 児浦未希史 岡部彩美 横溝 晃(原三信病院)

15:42～16:17 一般演題(2)

座長 山崎丈嗣(都城医療センター)

- 7 異物と思われた壊死組織を契機に発見された右尿管腫瘍の1例
○中原智子 岩本秀安 小林隆彦(野崎東病院)
永井崇敬(宮崎大学)
- 8 術前診断が困難であった尿道癌の2例
○鱸野秀一 見附明彦 坂口 大 井口智生 松下良介 吉野裕史
西村博昭 山田保俊 榎田英樹 中川昌之(鹿児島大学)
- 9 女子原発性尿道癌の1例
○植野 堯 大塚 武 長野正史(藤元総合病院)
- 10 原発性陰嚢内硬化性脂肪肉芽腫の1例
○白川達也 鬼塚千衣(県立日南病院)
- 11 陰嚢痛を主訴に受診した精巣腫瘍の1例
○石川裕隆 秋岡貴弘 中熊健介(人吉医療センター)

— Coffee Break —

16:50～17:32 一般演題(3)

座長 寺田直樹(宮崎大学)

- 12 多量出血を来したTURBT後の仮性動脈瘤の1例
○伊波 恵 佐藤衆一 池原 在 新村眞二 新村友季子(新村病院)

13 前立腺癌骨転移による症状に対し放射線治療を行い晩期遅発性の
両下肢筋力低下を来した1例

○志賀健一郎 山口秋人 横溝 晃 (原三信病院)
寺嶋廣美 (同 放射線科)
藤木富士夫 (同 脳神経内科)

14 馬蹄腎の腎門部に発生した腎癌に対してLPNを施行した1例

○慶田喜文 富永充彦 川原一朗 山崎丈嗣
(独立行政法人国立病院機構都城医療センター)

15 Late lineとしてアベルマブ、アキシチニブ併用療法および
カボザンチニブが著効した一例

○佐々木彩乃 倉橋竜磨 元島崇信 村上洋嗣 矢津田旬二
山口隆大 杉山 豊 神波大己 (熊本大学)

16 術前化学療法が奏功した尿路上皮癌Micropapillary variantの1例

○今藤淳之助 倉橋竜磨 元島崇信 村上洋嗣 矢津田旬二
山口隆大 杉山 豊 神波大己 (熊本大学)

17 当院における23年間の腎細胞癌の治療成績と腎機能の推移

○木村翔一 前田幸志郎 竹原俊幸 (おがわクリニック)

18:00 ~ 19:00 宮崎泌尿器セミナー (武田薬品共催)

座長 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野
教授 賀本 敏行 先生

「泌尿器内視鏡手術とともに30年

:手術を解き明かすことをめざして」

関西医科大学 腎泌尿器外科学講座

教授 松田 公志 先生



宮崎大学

UNIVERSITY OF MIYAZAKI

DEPARTMENT OF UROLOGY
FACULTY OF MEDICINE
UNIVERSITY OF MIYAZAKI
5200 KIHARA, KIYOTAKE,
MIYAZAKI 889-1692, JAPAN
TEL : + 81- 985- 85- 2968
FAX : + 81- 985- 85- 6958

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野

<演題追加のお願い>

※一般演題 (3) の演題番号 18 番に追加をお願い致します。

- 18 膀胱尿道全摘術後、嚢胞状腫瘤を形成した陰茎転移の一例
○藤田直子 押川英央 上別府豊治 月野浩昌 (潤和会記念病院)

症例は 83 歳男性。2019 年 4 月、当院で TURBT 施行、UC, high grade pT2 with CIS であり、8 月に腹腔鏡下膀胱尿道全摘術、尿管皮膚瘻造設術を施行した。
術後 2 ヶ月から陰部痛が出現し当院ペインクリニック通院するも改善しなかった。2020 年 8 月に疼痛部位に腫瘤を触れるようになった。同部位に嚢胞性病変を認めたため穿刺し細胞診に提出したが悪性所見は認めなかった。穿刺後、一ヶ月後には再度、液体貯留認めたため MRI 施行、所見から悪性も否定できなかったため、10 月 6 日、陰茎切除術施行した。病理組織学的診断で膀胱癌、転移再発の診断であった。
今回、膀胱尿道全摘術後、嚢胞状腫瘤を形成した陰茎転移の一例を経験したので報告する。